慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	『慶應義塾史事典』『福沢諭吉事典』完成記念福沢研究センターシンポジウム報告
Sub Title	A report of the symposium in celebration of the publication of "The Keio Encyclopedia and an Encyclopedia of Yukichi Fukuzawa"
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2011
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.28, (2011.) ,p.207- 209
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集2 : 事典がひらく新たな世界
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20110000-0207

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『慶應義塾史事典』『福沢諭吉事典』完成記念
福沢研究センターシンポジウム報告

慶應義塾福沢研究センターでは、二〇一一年三月一〇日に、慶應義塾大学三田キャンパス東館において、『慶應義塾史事典』『福沢諭吉事典』の完成を記念したシンポジウムを開催した。

両事典は、慶應義塾創立一五〇年を記念して、『慶應義塾一五〇年史資料集』別巻として刊行された。記念刊行物については、二〇〇四年度より検討を重ね、通史を書くためには資料集が不可欠であるという結論に達し、『慶應義塾一五〇年史資料集』の編纂が計画された。その別巻として二冊が刊行されたのである。

『慶應義塾史事典』

編集委員　岩崎　弘（慶應義塾幼稚舎教諭）
岩谷　十郎（慶應義塾大学法学部教授）
牛島　利明（慶應義塾大学商学部教授）

小室　正紀（慶應義塾大学経済学部教授）
酒井　明夫（慶應義塾福沢研究センター事務長）
寺崎　修（慶應義塾大学名誉教授・武蔵野大学学長）
都倉　武之（慶應義塾福沢研究センター専任講師）
西沢　直子（慶應義塾福沢研究センター准教授）
平野　隆（慶應義塾大学商学部教授）
山内　慶太（慶應義塾大学看護医療学部教授）
米山　光儀（慶應義塾大学教職課程センター教授）
編集顧問　関場　武（慶應義塾大学名誉教授）
刊行年月日　二〇〇八年一一月八日
『福沢諭吉事典』
編集委員　大塚　彰（慶應義塾志木高等学校教諭）
小川原　正道（慶應義塾大学法学部准教授）
小室　正紀（慶應義塾大学経済学部教授）
髙木　不二（大妻女子大学短期大学部教授）
寺崎　修（慶應義塾大学名誉教授・武蔵野大学学長）
都倉　武之（慶應義塾福沢研究センター専任講師）

西沢　直子（慶應義塾福沢研究センター教授）
日朝　秀宜（日本女子大学附属高等学校教諭）
松崎　欣一（慶應義塾福沢研究センター顧問・慶應義塾名誉教諭）
米山　光儀（慶應義塾福沢研究センター所長・慶應義塾大学教職課程センター教授）

刊行年月日　二〇一〇年一二月二五日　（編集委員の肩書きはいずれも刊行当時のもの）

いずれも、制作および販売は、慶應義塾大学出版会が担当した。

シンポジウムはパネリストに、すでに学院、学園に関する事典を出版された関西学院大学および日本女子大学から井上琢智氏（関西学院大学経済学部教授）、秋山倶子氏（元日本女子大学成瀬記念館）、早稲田大学から大学史資料センター所長大日方純夫氏（文学学術院教授）をお招きし、本塾からは福沢研究センター所員宮内環（経済学部）が参加した。司会は福沢研究センター西沢直子が担当した。午後三時に開始し、午後五時四五分に散会、来場者は五四名であった。以下、各パネリストによる当日の報告内容及びその後行った全体討論、当日配付したレジュメについて、一部加筆し掲載する。速記を元にしているため意味の読み取りにくい点もあるが、ご寛恕いただきたい。

また、本稿では、慶應義塾史事典編集委員会編『慶應義塾史事典　慶應義塾一五〇年史資料集　別巻1』（二〇〇八年十一月）、および福沢諭吉事典編集委員会編『福沢諭吉事典　慶應義塾一五〇年史資料集　別巻2』（二〇一〇年一二月）を各々、『義塾史事典』、『福沢事典』と呼ぶ。なお、『福沢事典』の背表紙には『福澤諭吉事典』と「澤」の文字が使われているが、本稿では奥付の表記によって、「沢」の文字を用いて『福沢事典』と表記する。また、節・項の番号は各報告者の当日のレジュメ（本特集末掲載）に対応している。